参考

合計特殊出生率について

Total fertility rates: Japan

- 1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率 Total period fertility rates and Cohort total fertility rates
 - 合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 期間合計特殊出生率

ある期間 (1 年間) の出生状況に着目したもので、その年における各年齢 (15~49歳) の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の合計特殊出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に 用いられている。

B コーホート合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ(コーホート)の女性の各年齢(15~49歳)の出生率 を過去から積み上げたもの。

「その世代の合計特殊出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代(コーホート)によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

- ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。
- 2. 令和2年における状況

Brief Summary, 2020

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した^造。

例えば1986~1990年生まれ(令和 2 年(2020年)における30~34歳の世代)についての34歳までのコーホート合計特殊出生率は 1.11であるが、35歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.11に今後の35歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により35歳以上の出生率(令和 2 年(2020年)0.3405)が上昇傾向であることから、少なくとも令和 2 年(2020年)の期間合計特殊出生率の1.33を上回ると見込まれる。

注) 各年の各年齢別出生率を合計した、より精密なコーホート合計特殊出生率は、国立社会保障・人口問題 研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

年齢	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和 2 年 (2020)
	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.33
15~19歳	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0206	0.0123
20~24	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1475	0 . 1148
25~29	0.7031	0.5880	0 . 4967	0.4228	0.4356	0.4215	0 . 3744
30~34	0.4663	0.4677	0.4620	0 . 4285	0.4789	0.5173	0 . 4877
35~39	0.1079	0.1311	0.1572	0.1761	0.2318	0.2864	0 . 2777
40~44	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242	0.0387	0 . 0557	0.0610
45~49	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0010	0.0015	0.0018

② 各世代(コーホート)別にみた年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

© 1 1 1 ()									
	昭和46~50年	昭和51~55年	昭和56~60年	昭和61~平成	平成3~7年	平成8~12年	平成13~17年		
	生まれ	生まれ	生まれ	2年生まれ	生まれ	生まれ	生まれ		
年齢	(1971-1975)	(1976-1980)	(1981-1985)	(1986-1990)	(1991-1995)	(1996-2000)	(2001-2005)		
	45~49歳の	40~44歳の	35~39歳の	30~34歳の	25~29歳の	20~24歳の	15~19歳の		
	世代								
15~19歳	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0206	0.0123		
20~24	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1475	0.1148			
25~29	0 . 4967	0.4228	0.4356	0.4215	0.3744				
30~34	0 . 4285	0.4789	0.5173	0 . 4877					
35~39	0.2318	0.2864	0.2777						
40~44	0.0557	0.0610							
45~49	0.0018								
コーホート	1 . 43	1 . 46	1.44	1.11	0.55	0.14	0.01		
合計特殊出生率	1 . 43	1.40	1.44	1.11	0.33	0.14	0.01		

③ コーホート合計特殊出生率(②の積み上げ)(ごく粗い計算)

	昭和46~50年	昭和51~55年	昭和56~60年	昭和61~平成	平成3~7年	平成8~12年	平成13~17年
	生まれ	生まれ	生まれ	2年生まれ	生まれ	生まれ	生まれ
年齢	(1971-1975)	(1976-1980)	(1981-1985)	(1986-1990)	(1991-1995)	(1996-2000)	(2001-2005)
	45~49歳の	40~44歳の	35~39歳の	30~34歳の	25~29歳の	20~24歳の	15~19歳の
	世代						
15~19歳	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01
15~24	0.22	0.22	0.21	0.20	0.17	0.14	
15~29	0.72	0.64	0.64	0.62	0.55		
15~34	1.15	1.12	1.16	1.11			
15~39	1.38	1.40	1 . 44				
15~44	1.43	1 . 46					
15~49	1 . 43						

出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

Relation between trends in live births and trends in total period fertility rates

- 年間出生数は、「15~49歳女性人口」(女性人口)、「(期間)合計特殊出生率」(合計特殊出生率)及び「15~49歳女性人口における年齢構成の違い」(年齢構成の違い)*2の3要素に分解することができる。
- このため、年間出生数の動向は、「合計特殊出生率」だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向にも影響を受ける。

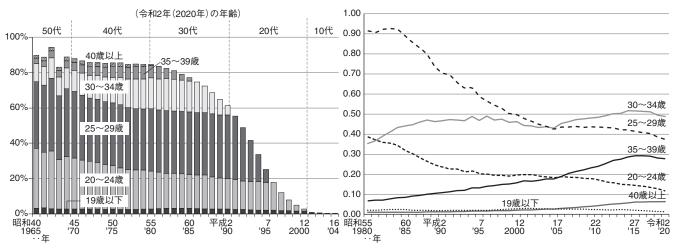
- 〇 令和 2 年(2020)の出生数は前年より $2.8\%減少したが、このうち約<math>\triangle$ 0.5%が人口要因(「女性人口」 \triangle 0.9% と「年齢構成の違い」 0.4%)の影響による。
- 「女性人口」の減少は今後も続くとみられるため、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数が減少していく ことになるが、
 - ・出生コーホート別の累積初婚率をみると、30歳までに結婚する割合は年々低下しているものの、35歳までに結婚する割合はここ数年横ばいであること(図1)
 - ・合計特殊出生率の年齢階級別内訳をみると、以前は20~34歳だった出産の主力が25~39歳に移っていること (図2)

といった晩婚化や晩産化の動向も踏まえ、今後の「合計特殊出生率」の動向を注視していく必要がある。

- ※1 (期間)合計特殊出生率は15歳から49歳までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、15~49歳女性 人口に乗じて年間出生数となるように35で除している。
- ※2 「年齢構成の違い」は、「**女性人口」×「合計特殊出生率」/35**が「15~49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うかを示すもの」である。出生率の高い年齢層に女性の人数が相対的に多くなっている場合には、「年齢構成の違い」は概ね1より大きくなる。
- ※3 「令和元年 15~49歳女性人口」は人口推計、「令和2年 15~49歳女性人口」は令和2年国勢調査に関する 不詳補完結果(参考表)を用いており、令和2年国勢調査より不詳あん分方法が変更になったため、比較をす るにあたっては留意する必要がある。

図1 昭和40~平成16年 (1965~2004年) 生まれの女性のコーホート別累積初婚率 (令和2年 (2020年))

図 2 合計特殊出生率の年齢階級別内訳の推移



(期間) 合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析

			実	数			対前年増減	咸率 (%)	
	年次	出生数(人) ①× $\frac{2}{35}$ ×3	①女性人口 (15~49歳)(千人)	②合計特殊 出 生 率	③年齢構成 の 違 い	出 生 数	女性人口 (15~49歳)	合計特殊 出 生 率	年齢構成の 違い
1970 71 72 73	昭和45年 46 47 48	1 934 239 2 000 973 2 038 682 2 091 983	29 400 29 589 29 700 30 035	2.13 2.16 2.14 2.14	1.079 1.097 1.122 1.139	3.5 1.9 2.6	0.6 0.4 1.1	$\begin{array}{c} \dots \\ 1.1 \\ \triangle 0.7 \\ \triangle 0.1 \end{array}$	1.7 2.2 1.6
74	49	2 029 989	30 128	²⁾ 2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76 77 78 79	51 52 53 54	1 832 617 1 755 100 1 708 643 1 642 580	30 271 30 289 30 319 30 351	1.85 1.80 1.79 1.77	3) 1 . 144 1 . 126 1 . 101 1 . 071	△ 3.6 △ 4.2 △ 2.6 △ 3.9	0.1 0.1 0.1 0.1	△ 3.0 △ 2.8 △ 0.5 △ 1.2	$\begin{array}{c} \triangle \ 0.7 \\ \triangle \ 1.6 \\ \triangle \ 2.2 \\ \triangle \ 2.8 \end{array}$
1980 81 82 83 84	55 56 57 58 59	1 576 889 1 529 455 1 515 392 1 508 687 1 489 780	30 438 30 333 30 404 30 463 30 549	1.75 1.74 1.77 1.80 1.81	1.038 1.013 0.986 0.963 0.942		$\begin{array}{c} 0.3 \\ \triangle \ 0.3 \\ 0.2 \\ 0.2 \\ 0.3 \\ \end{array}$		$\begin{array}{c} \triangle \ 3.0 \\ \triangle \ 2.4 \\ \triangle \ 2.7 \\ \triangle \ 2.3 \\ \triangle \ 2.1 \end{array}$
85 86 87 88 89	60 61 62 63 平成元年	1 431 577 1 382 946 1 346 658 1 314 006 1 246 802	30 644 30 726 30 834 30 983 31 177	1.76 1.72 1.69 1.66 1.57	0.927 0.914 0.904 0.896 0.890	$\begin{array}{c} \triangle \ 3.9 \\ \triangle \ 3.4 \\ \triangle \ 2.6 \\ \triangle \ 2.4 \\ \triangle \ 5.1 \end{array}$	0.3 0.3 0.4 0.5 0.6		$\begin{array}{c} \triangle \ 1.6 \\ \triangle \ 1.4 \\ \triangle \ 1.1 \\ \triangle \ 0.9 \\ \triangle \ 0.6 \end{array}$
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91 92 93 94	3 4 5 6	1 223 245 1 208 989 1 188 282 1 238 328	31 094 30 974 30 865 30 681	1.53 1.50 1.46 1.50	3) 0 . 897 0 . 910 0 . 924 0 . 942	$\begin{array}{c} 0.1 \\ \triangle 1.2 \\ \triangle 1.7 \\ 4.2 \end{array}$	$\begin{array}{c} \triangle \ 0.2 \\ \triangle \ 0.4 \\ \triangle \ 0.4 \\ \triangle \ 0.6 \end{array}$	$\begin{array}{c} \triangle \ 0.5 \\ \triangle \ 2.1 \\ \triangle \ 2.9 \\ 2.9 \end{array}$	0.9 1.4 1.6 1.9
95 96	7 8	1 187 064 1 206 555	30 614 30 651	1.42 1.43	0.954 0.967	△ 4.1 1.6	△ 0.2 0.1	$\stackrel{\triangle}{\underset{0.2}{5.2}}$	1.3 1.3
97 98 99	9 10 11	1 191 665 1 203 147 1 177 669	1) 30 249 29 809 29 330	1.39 1.38 1.34	0.993 1.021 1.047	△ 1.2 1.0 △ 2.1	△ 1.3 △ 1.5 △ 1.6	△ 2.6 △ 0.3 △ 3.0	2.8 2.8 2.6
2000 01 02 03	12 13 14 15	1 190 547 1 170 662 1 153 855 1 123 610	28 821 28 513 28 240 27 998	1.36 1.33 1.32 1.29	1.064 1.077 1.085 1.088	$\begin{array}{c} 1.1 \\ \triangle 1.7 \\ \triangle 1.4 \\ \triangle 2.6 \end{array}$	$\begin{array}{c} \triangle \ 1.7 \\ \triangle \ 1.1 \\ \triangle \ 1.0 \\ \triangle \ 0.9 \end{array}$	$\begin{array}{c} 1.3 \\ \triangle 1.9 \\ \triangle 1.1 \\ \triangle 2.1 \end{array}$	1.6 1.3 0.7 0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	³⁾ 1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06 07 08 09	18 19 20 21	1 092 674 1 089 818 1 091 156 1 070 036	27 165 26 982 26 757 26 531	²⁾ 1.32 1.34 1.37 1.37	1.069 1.057 1.044 1.032	$\begin{array}{c} 2.8 \\ \triangle \ 0.3 \\ 0.1 \\ \triangle \ 1.9 \end{array}$	△ 0.8 △ 0.7 △ 0.8 △ 0.8	4.5 1.5 2.2 0.1	△ 0.8 △ 1.1 △ 1.2 △ 1.2
2010 11 12 13 14	22 23 24 25 26	1 071 305 1 050 807 1 037 232 1 029 817 1 003 609	26 535 26 337 26 135 25 915 25 667	1.39 1.39 1.41 1.43 1.42	1.019 1.002 0.989 0.975 0.962	$\begin{array}{c} 0.1 \\ \triangle 1.9 \\ \triangle 1.3 \\ \triangle 0.7 \\ \triangle 2.5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 0.0 \\ \triangle \ 0.7 \\ \triangle \ 0.8 \\ \triangle \ 0.8 \\ \triangle \ 1.0 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} 1.4 \\ 0.4 \\ 0.9 \\ 1.5 \\ \triangle 0.3 \end{array}$	
15 16 17 18 19	27 28 29 30 令和元年	1 005 721 977 242 946 146 918 400 865 239	25 452 25 317 24 987 24 639 24 266	1.45 1.44 1.43 1.42 1.36	0.954 0.937 0.928 0.921 0.917	$\begin{array}{c} 0.2 \\ \triangle 2.8 \\ \triangle 3.2 \\ \triangle 2.9 \\ \triangle 5.8 \end{array}$	$\begin{array}{c} \triangle \ 0.8 \\ \triangle \ 0.5 \\ \triangle \ 1.3 \\ \triangle \ 1.4 \\ \triangle \ 1.5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 2.0 \\ \triangle \ 0.6 \\ \triangle \ 1.0 \\ \triangle \ 0.8 \\ \triangle \ 3.9 \end{array}$	$\begin{array}{c} \triangle \ 0.9 \\ \triangle \ 1.7 \\ \triangle \ 0.9 \\ \triangle \ 0.7 \\ \triangle \ 0.5 \end{array}$
2020	2	840 835	24 042	1.33	0.921	△ 2.8	△ 0.9	△ 2.3	0.4

注: 1)「女性人口(15~49歳)」の転換年は平成9年(1997年)である。 2)「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年(1974年)、平成18年(2006年)である。 3)「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年(1976年)、平成3年(1991年)、16年(2004年)である。

令和 4 年 10 月 14 日 印刷 令和 4 年 10 月 26 日 発 行

令 和 2 年

人口動態統計

編集·発行 厚生労働省政策統括官(統計·情報政策、労使関係担当)

印 刷 大和綜合印刷株式会社

- ○本冊子は、グリーン購入法 (国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律) に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- ○リサイクル適性の表示:紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [Aランク] のみを用いて作製しています。表紙については、リサイクルに適さない資材を使用しているので、古紙回収に出す場合は、取り除いてください。

